

省エネルギー・省資源活動

省エネ活動

店舗や事務所ではできるだけ電気使用削減するため、基本照明やスポット照明の消灯、屋外照明の消灯、空調の基本設定を28℃にするなどの節電を全店で実施しています。また、ガス・石油・水道の使用量も削減する努力をしています。

省エネルギー推進委員会

店舗では、エネルギー使用量の削減を目的に、月に1度、省エネルギー推進委員会を開催しています。メンバーは、店長や各副店長の管理職に設備担当や専門店代表者などで構成されています。毎月の電気、ガス、水道などの使用量の推移を確認し、削減についての施策を検討し具体的に実施しています。



リーチイン冷凍陳列ケースの導入

食品売り場に、ガラス扉付きのリーチイン冷凍陳列ケースの導入を進めています。従来のオープン冷凍陳列ケースと違い冷気漏れがないため、省エネ効果が見込まれます。



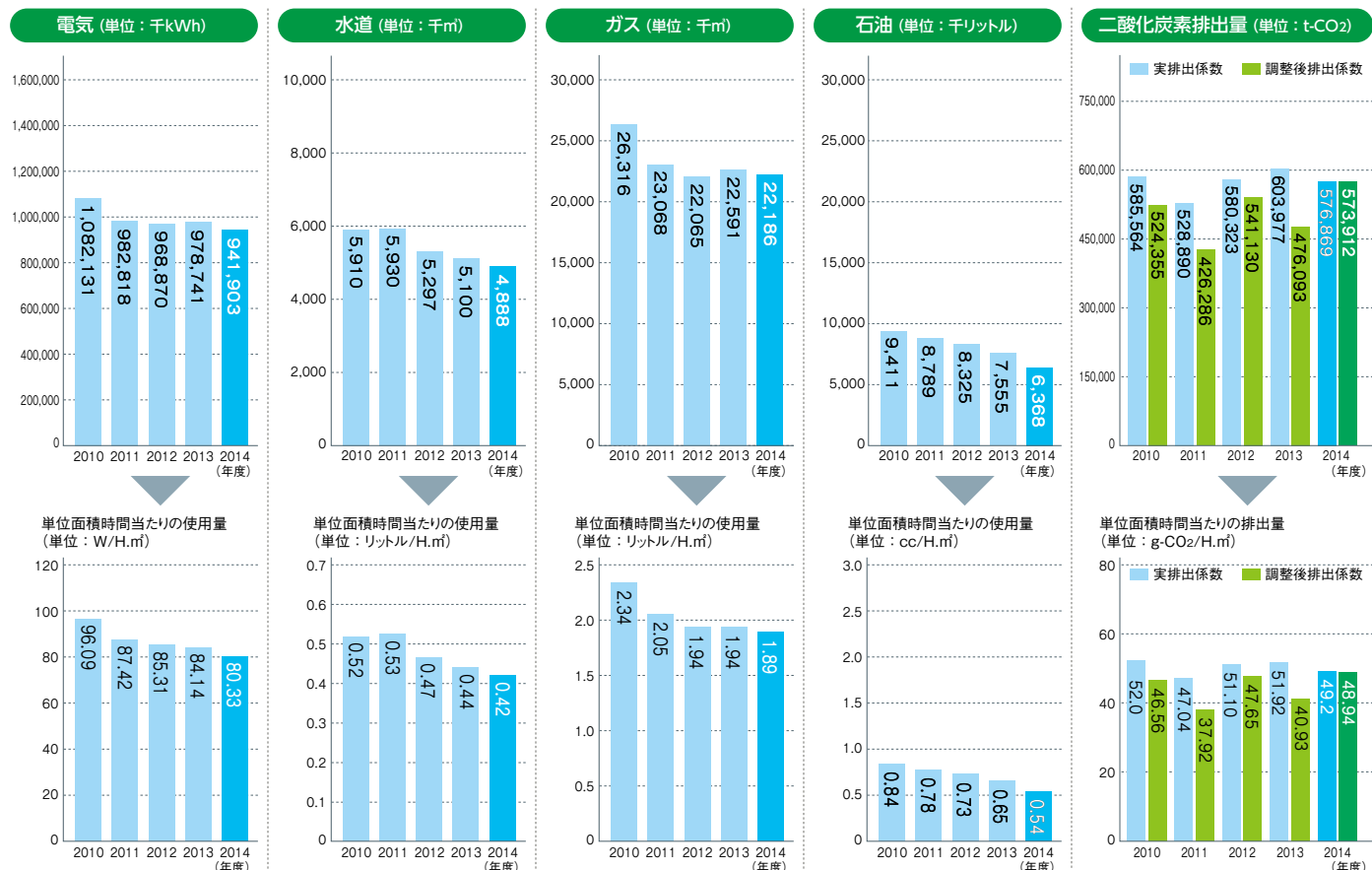
ライトダウンキャンペーンに参加

環境省主導のライトダウンキャンペーンに参加しました。これは、「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」の一環で、6月22日(夏至)と7月7日(クール・アースデー、七夕) 両日には、夜8時から10時までの2時間程度、商業施設や家庭での一斉消灯を呼びかけたものです。



エネルギー使用量の推移

※データは、各年度とも当年2月21日～翌年2月20日までのものです。



例年に比べ冷夏が影響したことに加え、改装店舗をはじめ既存店20店舗でLED照明へ切替えたことにより店内熱量が減少し、削減に繋がりました。

冷夏の影響に加え、水道から井戸水への切り替え効果により減少に繋がりました。今後は雨水の利用や節水トイレの採用などにより、削減を図ります。

冷夏の影響にて空調利用を控えたことにより、削減につながりました。また、LED照明により店内熱量が減少したことも削減の要因です。今後は効率の良い設備転換により削減を図ります。

冷夏の影響により発電機の使用量が下がったため、削減に繋がりました。またLED照明による店内熱量が減少したことも削減の要因です。今後は効率の良い設備転換により、削減を図ります。

エネルギー使用量は削減したものの、各電力会社の調整後排出係数が軒並上がった影響により、調整後排出係数による二酸化炭素排出量はかなり上がりました。

4社の電気使用に伴う二酸化炭素の調整後排出係数

電気供給事業者	平成25年度 (t-CO ₂ /kWh)	平成26年度 (t-CO ₂ /kWh)
東京電力株式会社	0.000406	0.000521
中部電力株式会社	0.000373	0.000509
北陸電力株式会社	0.000494	0.000628
関西電力株式会社	0.000475	0.000516

2014年度のCO₂換算係数は下記より換算しました。

●電気…環境省ホームページ温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度について 電気事業者別のCO₂排出係数(2013年度実績)(平成26年12月5日公表) ●水道…独立行政法人国立環境研究所「水道に関するCO₂排出原単位の算定根拠」(環境省推奨) ●ガス・石油…環境省ホームページ温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度について 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(平成22年3月改訂後)

※二酸化炭素排出量: ●調整後排出係数…電気事業者の調整後排出係数(京都メカニズムクレジット・国内認証排出削減量を加味している) ●単位面積時間当たりの使用量…CO₂排出量/営業面積×営業時間